

すべての人に「居場所」と「持ち場」のあるまちをめざして

① 生野区ってどんなまち?

少子高齢化のまち

高齢化が進む生野区では、「シニアスマートシティ・いくの」を掲げ、スマホの活用などシニアの方に生活をもっと便利に楽しんでもらうための取り組みを進めています。また、少子化に歯止めがかからない中、学校の規模の適正化に向け学校再編を進めるとともに、防災拠点の機能を残した跡地活用にも力を入れています。



▲シニア向けスマホ教室の様子

- ・高齢化率………31.5%(市内2位)
- ・15歳未満人口………9.4%(市内5位)
- ※令和2年国勢調査

子育てに寄り添うまち

生野区には、子育て支援室のほか、子育てについて気軽に相談できる場所が身近にいくつもあります。これらの場所を記した子育てマップは、母子手帳交付時や、乳幼児健診時にお渡ししています。



ここにこいくの子育てマップ



歴史を感じられるまち

区内には都市景観資源(わがまちナイススポット)の登録が18件もあります。

※登録されている区内の歴史的建造物等ははこちら



いかりんしゅつじ 寺利尊勝寺

交通の社会実験が行われているまち

将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークの維持をはかるため、生野区では現在、2つのバスの社会実験が行われています!

いまざとライナー
今里筋を地下鉄並みの約1km間隔で運行する速達性などに優れたバスです。

オンデマンドバス
路線バスのように決まったルートや時刻表がない予約型の乗り合いバスです。

ものづくり企業が多いまち

生野区は製造業の事業所数市内1位を誇ります。「ものづくりのまち生野区」の魅力を知っていたくため、区内の製造業で働く人や技術の魅力を、イラストを交えながら紹介する「生野のものづくり百景」は、2020年に完成しました。

「生野のものづくり百景」デジタルブック版はこちら



空き家の利活用の活動がさかんなまち

5軒に1軒が空き家の生野区では、区内で空き家の利活用を推進している団体や事業連携協定を締結している事業者とセミナーを開催するなど、空き家の利活用に取り組んでいます。また、「広報いくの」では、空き家等をリノベーションし素敵に暮らす方々を紹介してきました。

「いくのdeリノベ」デジタルブック版



銭湯が多いまち

区内の銭湯数は現在29件で、市内1位です!「広報いくの」2019年8月号の特集では、古本住みます芸人の田津原理音さんが銭湯を体験した記事を掲載しています。



銭湯の記事は区のブログでも紹介しています。

住みながら世界とつながるまち

住民の5人に1人は外国籍で、その国籍は60にのぼります。そんな生野区では、様々な文化に触れ、学びあえる機会がたくさんあります。広報紙の連載記事「IKUNO×グローバル」では生野区に住む外国人の方を紹介してきました。また、区役所では「やさしい日本語」での情報発信・つながりづくりを行っています。



IKUNO×グローバルデジタルブック



住民同士の助け合いがあるまち

生野区では、さまざまな地域団体による活動や、ボランティアグループによる活動が活発に行われています。

ボランティア・市民活動については区社協HPへ

防犯・防災に力を入れているまち

特に生野区の西部地域では、震災被害を免れた密集市街地が多く残っており、地域とともに防災力を高めることに力を入れています!

- ・災害時協力事業所(物資提供や人的資源)の登録数は20事業所まで増加
- ・Web版防災マップは多言語に対応
- ・生野区全域一斉パトロールの実施(毎年約4000名が参加)
- ・防犯カメラは地域80台、全小中学校28台設置
- ・ワクチン接種会場やYouTubeで自転車運転ルールを啓発

公民連携に力を入れているまち

行政分野に企業等のアイデアや技術、ノウハウなどを取り入れ、連携した取り組みを行うことで、行政サービスの向上や地域の活性化をめざしています。

区の連携協定についてはこちら

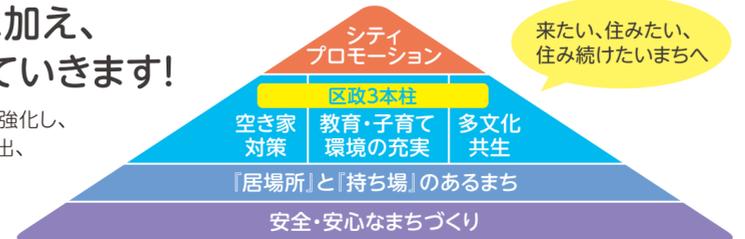


区政3本柱の取り組みに加え、「産業振興」に力を入れていきます!



筋原生野区長

企業、商工団体及び行政等による公民連携を強化し、それぞれの強みを活かしてビジネス機会の創出、次世代を担う人材育成を支援することで、産業振興をはかっていきます!



来たい、住みたい、住み続けたいまちへ

② 生野区役所が今年度取り組んでいくこと 主な事業ピックアップ

令和4年度 生野区 運営方針

安全・安心を身近に感じて暮らせるまち

災害に備えて 709万円

自主防災活動の支援・災害時の体制強化など

犯罪や事故の防止 1,024万円

防犯カメラ設置、自転車マナー啓発、放置自転車対策など

身近な見守り・支え合い 4,870万円

見守り支援の強化、住民同士の支え合いの支援、高齢者食事サービス事業など

重大虐待ゼロに向けて 1,284万円

「生野区子ども地域包括ケアシステム」による虐待の早期発見、ハイリスク家庭への支援など

多様性の尊重・認め合い 243万円

人権啓発イベントの開催、広報紙等の多言語翻訳アプリ配信、「やさしい日本語」の普及啓発など

子育てにやさしく、教育につよいまち

ライフステージに応じた子育て支援の充実 627万円

妊娠から出産、乳幼児期から就学期にわたる各ライフステージのトータル支援など

子育てが楽しくなるまちづくり 131万円

子育てイベントや、絵本サポーターによる乳幼児健診時の読み聞かせの実施など

未来を生き抜く力の育成 8,042万円

次世代の学校づくりとして、学校再編に伴う児童の安全確保のための居場所づくりや小中学校に「キャリア教育」や「性・生教育」のための講師派遣事業、中学生の学力向上に向けた課外授業・進路相談等の実施(いくの塾)など

いどり豊かな魅力のあるまち

持続可能な地域公共交通の推進 11万円

生野区にふさわしい地域公共交通実現に向けての支援、PRや検討会の運営など

空き家の利活用による新たな魅力づくり 27万円

空き家の建て替え・利活用の促進(セミナー等の開催)など

学校跡地を核としたまちの活性化 3億3,347万円

学校再編後の跡地活用の検討・準備、活用事業者の公募

シティプロモーション 2,349万円

「来たい、住みたい、住み続けたいまち」をめざし、生野区の魅力の発掘・発信など

③ 区民のみなさん一人ひとりがまちづくりの担い手です!

こんなことやあんなことも、まちづくりにつながっていきます!



「生野区大好き!」「住んで良かった!」 そう思える わたしたちのまち生野区にしていきたいと思います!